



# 統計スポット情報

No. 134

19.6.29

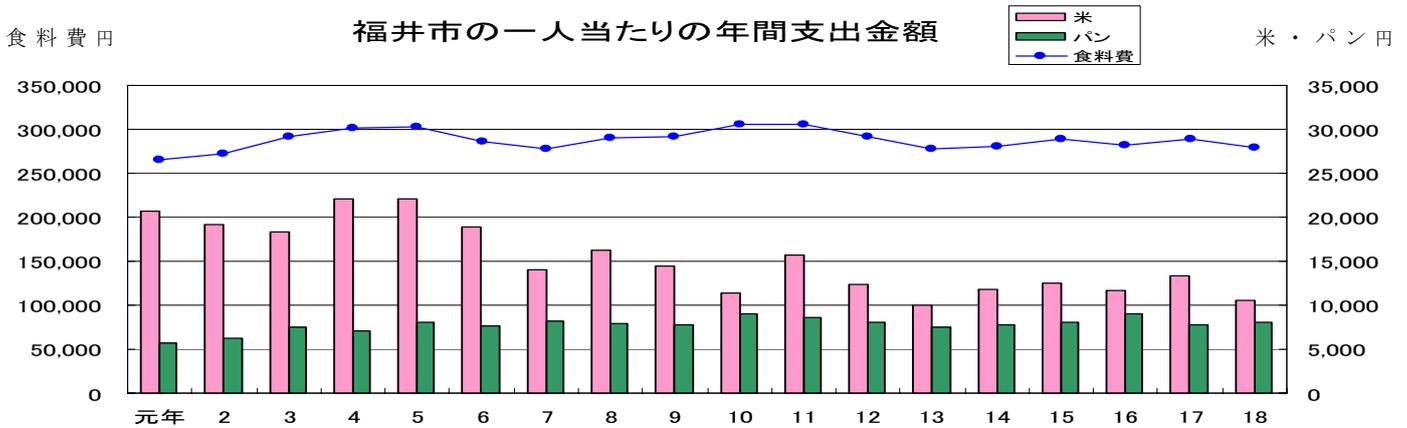
福井県総務部政策統計課

## ～家計調査から見る 福井市の食料費の変化～

家計調査は、統計法に基づき、抽出した世帯を対象として、家計の収入・支出、貯蓄・負債などを毎月調査しています。今回は、家計調査の結果から、平成に入ってから福井市の食料費の変化をみていきましょう。

### 1. 一人当たり※の年間食料費および主食の米・パンへの年間支出金額の変化

**食料費は18年間ほぼ一定の金額で推移、米への支出金額は減少、パンへの支出金額は増加。**



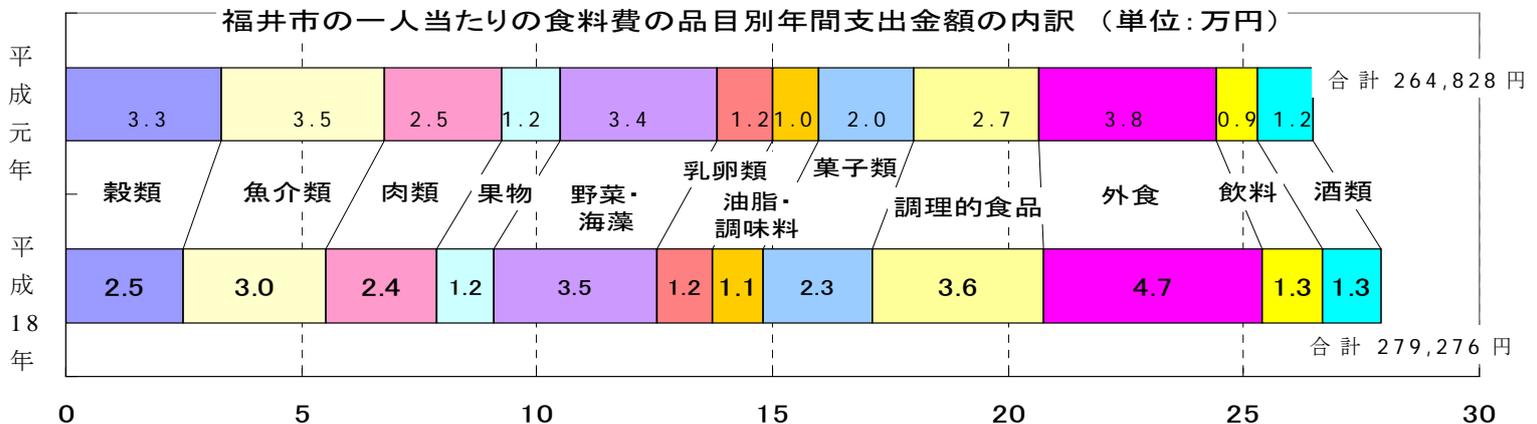
上のグラフは、左軸が食料費の金額、右軸が米・パンへの支出金額をあらわしています。

▼ 食料費は、26万円から31万円の間で推移し、18年間で大きな変化はありません。

▼ 米とパンへの支出金額を、平成元年と平成18年で比較してみると、米への支出金額は20,655円から10,605円に大きく減少し、パンへの支出金額は、5,728円から8,060円に増加しています。

### 2. 一人当たりの食料費における品目別年間支出金額の変化

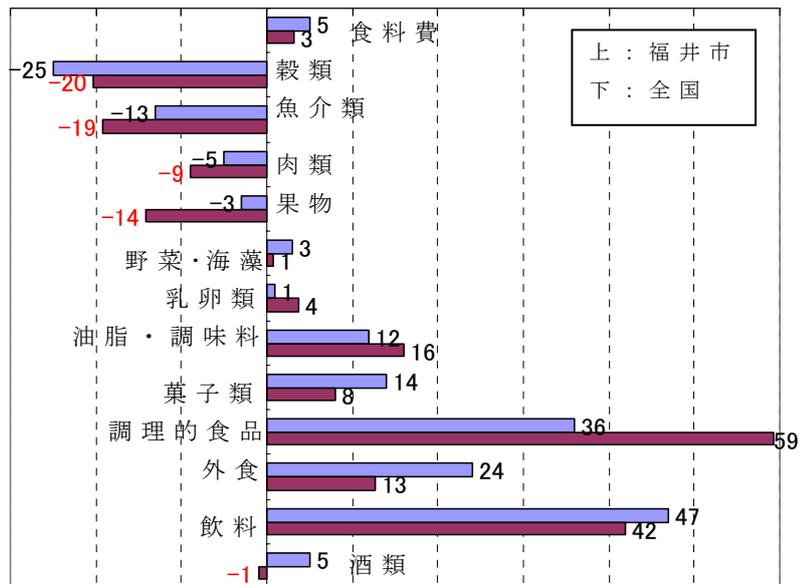
**穀類、魚介類、肉類への支出金額は減少、調理的食品、外食、飲料への支出金額は増加。**



▼ 平成元年、平成18年を比較すると、ともに外食への支出金額が一番多く、次に多いのが、平成元年は魚介類、平成18年は調理的食品になっています。

▼ 平成18年の年間支出金額を都道府県庁所在地別ランキングで見ると、外食は、一人当たり支出金額で40位、世帯当たり支出金額で27位となっており、次に多かった調理的食品は、一人当たり支出金額で7位、世帯当たりの支出金額で1位になっています。

平成18年一人当たりの食料費品目別  
年間支出金額の対平成元年増加率(単位:%)

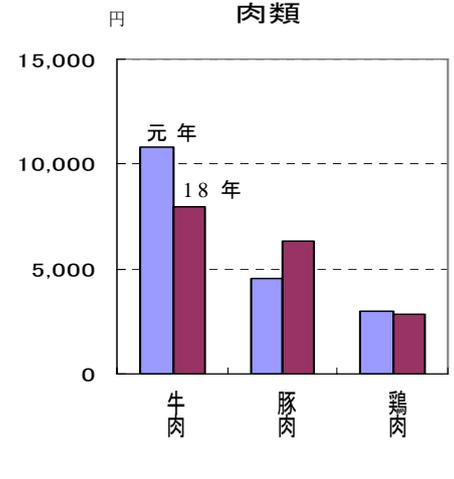
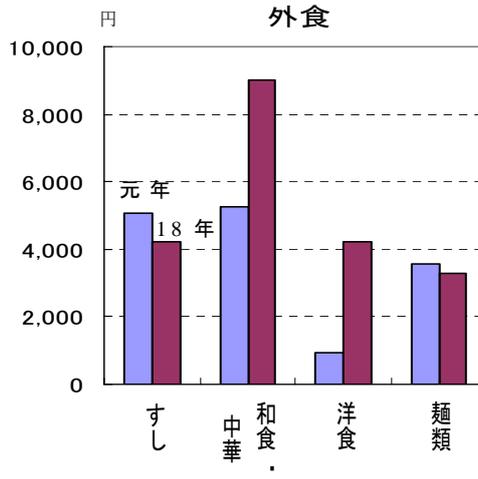
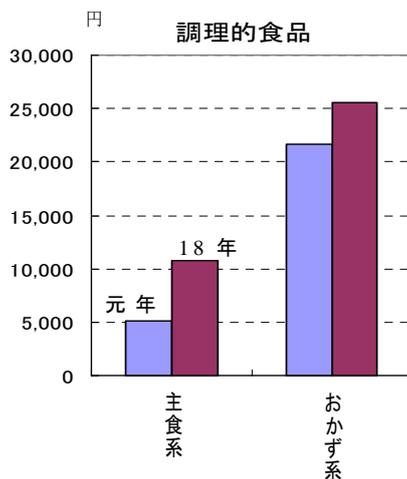


右は、平成元年に対する平成18年の食料費品目別年間支出金額を増加率であらわしたグラフです。

▼福井市と同じように全国でも、穀類、魚介類、肉類への支出金額が減少し、調理的食品、外食、飲料への支出金額が増加しています。

▼飲料は、茶飲料やミネラルウォーターへの支出金額が多くなったこともあり、増加しています。

### 3. 福井市の一人当たりの年間支出金額でみる食品品目の中での変化



▼調理的食品は、主食系とおかず系に分けられます。支出金額ではおかず系が多いものの、増加の割合で見ると、主食系のほうが大きくなっています。

〔主食系とは、米、パン、めん類を含んでいる食品で、弁当・調理パン・肉まん・グラタンなど、おかず系とは、コロッケ・カツレツ・天ぷら・フライ・ぎょうざ・やきとりなどの食品です。〕

▼外食は、外食産業の発展もあり、とくに洋食への支出金額が増加しています。

〔洋食には、フランス・イタリア・スペインなど西洋風の料理のほか、タイ・メキシコ・韓国料理なども含まれています。〕

▼肉類は、全体的に減少しましたが、内訳を見てみると、牛肉への支出金額は減少していますが、豚肉への支出金額は増加しています。

ふだんはあまり意識することのない食費の変化、みなさんの家庭ではどうでしょうか。  
振り返ってみると、おもしろい発見があるかもしれません。

※ 家計調査結果は一世帯当たりのため、一人当たりの数値は、(世帯当たりの金額÷世帯人員)で計算しました。(参考資料・『家計調査年報』総務省統計局・『家計調査概要』福井県)